

- View from the Other Side ..... 3  
レー・レ・トウイさん(ベトナム)
- あちこち日本語ご紹介(国内編)..... 4  
広島県 呉市
- あちこち日本語ご紹介(海外編)..... 5  
アメリカ合衆国 ウェストポイント
- 教材紹介 ..... 6  
『アカデミック・ライティングのための パラフレーズ演習』  
「みんなの日本語中級」シリーズ  
電子書籍・アプリ
- なんでも情報BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭  
寄稿

## 日本語教室は地域をつなぐプラットフォームに

—コミュニティデザイナーの山崎亮さんにお聞きしました—

山崎 亮

studio-L 代表



### —コミュニティデザインとは？

コミュニティデザインというのは、地域に住んでいる人たちが自分たちの住んでいる地域の課題を発見、共有することで、なんとかせにゃならんという気持ちになってその解決策を試行錯誤しながら、その人たち自身がその地域を少しでもいい状態に持っていこうとするのを支援する仕事です。

コミュニティデザイナー自身がまちづくりのリーダーになるのではなく、その都度適切な事例や情報などを示しながら、あくまでその地域の方々が主体となって地域の元気を生み出していくのをサポートします。

### —日本語教室をコミュニティデザインの手法で作ると？

我々のやり方だと、はじめから日本語教室を作るのではなくて、地域に入ってみてそれが課題だったら日本語教室になっていきます。通常はまず、何をやるかということから決めるので、100人くらいに芋づる式に地域の課題やいいところを聞きます。その中で、ある地域では最近外国人が増えてきて、その人たちとコミュニケーションがうまくできていないという話が、地域の何人かから

出るかもしれません。そうしたら、何か方法考えましようかとか、日本語教室を作ってみたらとか話をしてくれた何人かと、実際に教室を始めるためにはどうするかを考えることが多いですね。

もし、日本語教室をやると決まっている場合はここからでしょうね。何人か仲間が集まった。次は、具体的にどうするかっていうと、やはり外国人の人たちと話をしてみたいと思います。まず、二人一組で住んでる外国人で連絡を取れそうな人から順番に話を聞きます。どうして日本に来たのか、日本の生活で困っていること、日本語教室があったら助かるのかとか聞いて、最後にほかに面白そうな外国人がいたら紹介してください、また話を聞きに行きます。ただ、日本語をあまり話せない人だとすると難しいかもしれませんが、その地域の人たちが何を望んでいるのかはプロジェクトを起す前には把握しておきたいですね。

同時に、支援者となる日本人のネットワークも増やしていくことが重要です。何か地域で面白い活動をやっている人とかに話を聞いてどんどん紹介してもらいます。サッカー、凧揚げ、天体望遠鏡やパソコン教室、なん

でもいいので、何か地域で活動している人の話を聞きに行き、地域の友達を増やしていく。地域の活動団体、コミュニティの実情を知って、団体の特徴や日本語教室とか外国人とどれぐらい一緒にやれそうかを見ながら、その既存のテーマ型コミュニティの人たちとのネットワークを作るということもやります。

まずやるべきことは二つです。外国人自身と話すということと、地域のいろんなコミュニティの人と話すということ。そうすると外国人自身の意見と、ほかのコミュニティで将来一緒に組めそうな人たちの意見が集まります。

次はプロジェクトを立ち上げるまで、勉強しながらみんなで話し合っていくという段階です。それで、どこでどれぐらいの規模でやっていくかを話して、まずはどこかを借りて実験的にやっていく。最初は話を聞いた人とかに案内をして、公民館でもどこでもいいので試験的にやってみる。実際にやってみて出てきた意見に応じて場所や時間や回数を変えて、あまり労力のかからないお茶代だけ出せばいいようなやり方を少し試してみる。外国人が何回か来てくれるようになって

たら、その人が何か別のコミュニティの人と一緒にできることはないか考えて、単発的にサッカーや料理教室と一緒に何か試してみてもいいでしょうね。そうやっているとう運営面などの課題が見えてくるでしょうからそれを一つずつ変えていきます。そのうち拠点がほしいという話が出てくるので、そうやってきたら家賃や運営資金とか、支援者の数を増やしていくとか、日本語教室に来る人たちの費用負担をどうするか、そのようなことを練って、現実的なラインで、実際に拠点を借りていくことになると思います。

### —支援する側も支援される側も役割を持つ

日本語教室で外国人に関わるということをやりながら、別のコミュニティの話を書くのは、そのコミュニティの人たちが関わってくれて日本語教室を豊かにしてくれるということですけど、それだけではなくて、向こうが困っていることをこちらの日本語教室で解決できる方法はないか考えるのも重要です。単純なことといえば、相手のホームページを各国語に翻訳するとか、料理教室であれば参加者の国の料理を教えますよとか、双方にメリットがある関係性を築くことができますよね。

その時に、ある種の役割を外国人にも担ってもらうことが重要でしょうね。外部に対して自分たちができることを提供すると、ただ教えてもらうだけじゃなくて、自分の国の料理を教えに行くとか、日本語を習いながらホームページを翻訳するとか、誰かのためになる活動を支援される側の外国人も経験することになりますよね。そういうことをやっているとう、教室の運営なんかに協力してくれるようになる気がしますよ。役割があると組織のことを考え始めますので。支援する側と支援される側だけではなくて、そこに他者があることが役割を生み出しますよね。サッカー教室や料理教室と対峙して何かやろうと思った時に、一緒になってどんな関係性を切り結べるのかってことを考え始めるような気がします。将来的にはその卒業生とか、日本語を話せるようになった人たちが自然な形で支援者側に回っていくということもあるでしょうね。

もし、外国人が長く続けてくるという形を作れていないのであれば、日本語教室が日本語を習いに来るところというよりは、何か楽しいことをやる場所にならないといけな

のかな。日本語を習うっていう手段ではなくて、その場自体が目的化していく。日本語を学ぶ目的だけだったら、ある程度習得できて目的を達成したら、行かなくていい対象になっちゃうんで、むしろ地域で何か面白いことをやりましようっていう場であり、気づいたら日本語も習うことができているというくらいにしたほうがいいのかもかもしれませんね。

### —広報ツールにはデザインの視点

いずれにしても、早いうちに自分たちの広報ツールは作ったほうがいいですよ。ホームページはもちろん、配れるような冊子やチラシとかをわかりやすく作る、できればその時にデザインという視点もちゃんと入れてほしいですね。

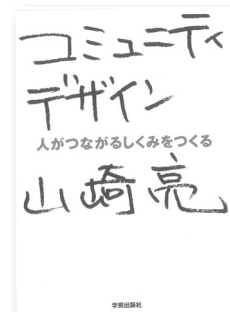
人々が興味を持ってくれるきっかけとなるツールですから、何をやろうとしている団体かがわかる内容と実際の写真が入っている「おっ」と思ってもらえるツールがあって、それと支援者募集がセットになっていると、どんな団体が人を集めているのかがわかってもらえますよね。チラシなども、どこに置かれるかを考えて作ることも案外大事です。僕は建築の専門家でグラフィックの専門家じゃありません。やっぱりデザインでも違うんですよ。コミュニティデザインの仕事を始めたら、チラシで人を集めなくちゃいけない。独立した当初は自分でチラシも作ってましたから、その訓練をしようと思って、近くの美術館にあるチラシを全部取ってきてました。美術館のチラシって、プロのデザイナーが作っているものなので、タイトルがどれぐらいの文字で、そこからどれぐらいあけて細かい文字があるとか、日時はどれぐらいの大きさでどういう風に目に飛び込むように入っているかとか参考にできるんです。ぶ厚いファイルにダーツとチラシリソースを作って、お気に入りのチラシに付箋が貼ってあるんです。どのタイプで作るか決めたら、最初は丸々一緒のものを作ればいいんです。5回ぐらい作っているとだんだん自分なりにちょっとアレンジしたくなる。オリジナルのデザインができるようになってきますし、ホームページも全然変わってきます。美術館のチラシ、いいですよ。

練習ってそういうことだと思えます。我々がデザインの分野でスタディと呼んでいるものは、とにかく做らうですよ、同じも

のをマネします。たとえばコルビュジエが建けた図面をそのままトレースするんです。何度も何度も、まずは設計図をなぞることからスタートするんです。なぞってるってだんだんわかってくるんですよ、どうしてコルビュジエはここに階段を付けたんだろうとか。グラフィックデザインも一緒ですよ。

### —最後に、読者の方たちへ

日本語教室って、それぞれの中にも様々なテーマを含んでいるので、可能性は非常にあると思います。日本語あるいは日本というだけでいろんなフックがあるはずなんです。日本食も衣服もお祭りもそうですよね。語学のための教育をやっていると、学習者と支援者との間で日本語を教えるだけになりやすいですが、それをきっかけにして日本語というもののの中に含まれている多様なテーマとどんどん結びついていくと、地域の中のテーマ型コミュニティとかなりたくさんつながることができる可能性が出てきます。そうすると日本語教室は外国の人たちが日本語でコミュニケーション取れるという枠を超えて、地域を元気にしていくための原動力になり得るんじゃないかと思えますね。



### 山崎 亮 (やまざきりょう)

studio-L 代表。

京都造形芸術大学教授。

慶應義塾大学特別招聘教授。

1973年愛知県生まれ。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。著書に『コミュニティデザイン(学芸出版社)』『コミュニティデザインの時代(中公新書)』などがある。

現在、大学生が「ふるさとを元気にする仕事」について学ぶ、全国初の「コミュニティデザイン学科」設立に携わっている。コミュニティデザイン学科は、2014年4月から東北芸術工科大学でスタートし、被災地の復興や東北の集落を支援しながら実践的なコミュニティデザインの手法を学ぶ場になる予定。

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

## 日本語と私

偶然学ぶことになった日本語に魅了されて

### 日本語との出会い

「なぜ日本語を勉強しましたか。」この質問に、本当の理由を言うことはありませんでした。それは自身の意思を示すものではなく、格好良いとは思えなかったからです。

20年前、ベトナムではロシア語を学ぶのが一般的でした。1992年、私がハノイ外国語大学(現在ハノイ国家大学)のロシア語学科に入学した時、ソ連の崩壊を受け、ベトナム社会は大きな転換期を迎えていました。これからはロシアだけでなく、世界の様々な国と良好な関係を築かなければなりません。ロシア語学習者はすでにあふれるほどいたので、大学は第二外国語として英語と日本語のいずれかを選択する方針を打ち出し、私が所属するクラスは、日本語を学ぶクラスになりました。こうして、私の意思とは無関係に、私は日本語を学び始めました。

そのころはドイモイ政策から間もなく、世界の情報を入手するのが難しく、日本は全くの幻の国でした。ベトナムのメディアは、日本のことを表す際に、「扶桑国」という言葉をよく使っていました。とても文学的でロマンチックなこの呼び名は私の心を魅了しました。

### 日本語の必死の勉強

大学を卒業したら自分を養うのはロシア語ではなく日本語だという意識が明確だったので、日本語を一生懸命勉強しました。当時は、日本語の資料が本当に少なく、一つの教科書と、図書館に日本語辞典が一冊あるだけでした。この辞書を巡り、日本語学習者は毎日争って図書館に行かなければなりませんでした。

当時は日本人と会うことは殆どなく、もし会うことができたなら、目を輝かせて話しかけ、会話練習のチャンスを逃しませんで



### レー・レ・トウイ

ベトナム社会主義共和国クアン・ニン省ハーロン市出身。

ハノイ国家大学・外国語大学の日本語文化学科卒業。在学中に日本語・日本文化研修留学生として名古屋大学に1年間留学。

卒業後、日本語教師として中学校及び大学で日本語教育に携わると同時に、JICAプロジェクトにも参画。

2007年結婚を機に再来日。現在は子育ての傍ら、日越翻訳などを行う。

した。ある日、ハノイで国際展示会が開催され、日本人がいるとの噂がクラスに広まりました。授業後急いで展示会へ向かうと、釣り用品のブースに日本人がいました。私たちはすぐに彼らを「練習相手」にしました。「お名前はなんですか。」「家族は誰がいますか。」「朝起きて何をしますか。」など、授業で学んだ質問を何度も何人もが繰り返しました。当時の私たちの日本語はそれが精一杯だったのですが、学んだ日本語が初めて「生きている」と実感できた瞬間であり、大きな満足で鼻息荒く展示会を後にしました。今振り返ると、その日本人の方たちには迷惑をかけたなと思うと同時に、丁寧に対応してくれたことに心から感謝した

いです。

大学3年の時、日本大使館主催の日本への留学試験を受験しました。合格者はベトナム全国で12人の狭き門のため、食事やトイレが邪魔に感じるぐらい必死で勉強しました。結果として試験に合格し、日本留学を勝ち取りましたが、身長が158cmなのに体重が39kgにまで痩せてしまいました。

### 日本語を習うベトナム人の特徴

日本に留学した時、最初に言われたのは、私の発音が子供のようだという事でした。「つ」が正しく発音できなかったのです。「つ」の発音はベトナム語にないので、なかなか難しく、たくさんの人に正しい発音を何度も教えていただいたのですが、なかなか改善できませんでした。あるとき、一人の先生の指導で私は「つ」を綺麗に発音できるようになりました。その秘訣とは、「て」を発音した舌の位置で「つ」を発音しようとする、というものでした。私はその後、ベトナム政府と日本国際交流基金によるベトナム中等学校における日本語教育試行プロジェクトでベトナムの中学生に日本語を教えました。授業ではいつもこの秘訣を伝えました。効果はテキメンで、ほぼ100パーセント発音できるようになりました。

### 人生の出会いへ

日本語を学ぶにつれて、日本語、日本文化、そして日本人のことも好きになりました。今は留学した大学で出会った日本人と結婚し、来日して、通訳・翻訳を通じて日越の橋渡しのお手伝いをさせていただいています。日本での暮らしでも、日本語を学んだ時期に身につけた積極的に話しかけるクセが生きています。最近、駅で偶然知り合った女性から生け花と日本の美を学んでいます。



日本語ご紹介

国内編

広島県 呉市



## 町へとびだし、市民とともに

ひまわり21代表 伊藤 美智代

美しい瀬戸内海に面した広島県呉市の公民館で、教育委員会が主催する「日本語教室《呉》」を、市民団体「ひまわり21」が運営しています。呉には造船や自動車などの工場が多く、アジアからの技能実習生や南米からの定住者がたくさん働いています。私たちの日本語教室に通ってくる学習者の多くが、そうした呉の産業を支えてくれている人たちです。

教室には、学習者の家族や友人・会社の人、見学の方がよく来られて、沢山の人が集まりとても賑やかです。温かく自由な雰囲気が、一番素敵なおところだと思います。

さて、「ひまわり21」は、活動の目的を「国際化が進む中で日本語学習や交流活動を通し、さまざまな文化を持つ人々が相互認識と理解を深め、共に生きる地域社会の実現を目指す」とし、「すべての市民に開かれた教室」をモットーに、日本語学習支援だけでなく様々な活動に取り組んでいます。

活動をあげたきっかけは学習者の声です。ミーティングや研修会などで学習者の意見を聴くと、私たちの教室は日本語を学び、生活上の問題を解決し、心安らぐ楽しい居場所になっているようですが、その一方で「日本語教室の日本人は特別に優しい日本人です。」「日本語を話すのはここだけです。」といった言葉をよく聞くのです。学習者はしばしば優しくないと感じる人と出会い、近所や職場の人とはほとんど話さないという実態があるようです。

私たちは日本語を学ぶお手伝いをするだけでいいのだろうか。教室を素敵なお場所にすることでいいのだろうか。そうした思いから、学習者と地域を結ぶために「地域に働

きかけていこう！ 教室の楽しさを地域に拡げていこう！」と考えるようになりました。

では、地域とつながるために取り組んだ活動をいくつか紹介します。

### 1 日本語活動での工夫

#### ①みんなのアルバム

大好きな景色などを写真に撮って、教室の仲間に紹介します。それを文章にし、さらに展示物に仕上げ、パネル展等で市民の皆さんにも紹介します。

#### ②お出かけ調査

「学習者・日本語ボランティア・市民・関係機関など」でグループを作り町に出かけ、分からないこと、知りたいこと等を話しながら日本語活動案を探します。

### 2 市民に理解を深めてもらうための活動

講演会や報告会を、日本人住民と外国人住民と一緒に聴けるように工夫したり、日本語ボランティア研修等に学習者が参加する活動を取り入れたりしています。また、市内数か所で実施するパネル展は、日頃の活動を知ってもらう大切な取組です。

### 3 市民と一緒に活動

#### ①ボランティア活動に参加

250人の市民と共に、ゴミを拾いながら山に登るボランティア活動に参加しました。知らない人とたくさん話すという課題を出して、積極的に話しかけるように後押しし、後日写真・作文・フォトストーリーなどで教室の仲間に報告してもらいました。

#### ②巨大ステンドグラス作成

教室近くにある大学の学生達と一緒に、巨大ステンドグラス作品を作りました。「広地区まちづくり推進協議会」の助成を受け、計画から5回目の展示まで2年近くをかけて取り組み、参加者や地域の皆さんに楽しんでもらいました。

こうした取組から、参加者は机上の学習では得られない学び・喜び・自信を得ているようです。また、地域とつながることを意識した活動を進めるうちに、関係機関や地域の団体から「一緒にしましょう！」と誘われるようになりました。参加者も地域住民も意識が変わってきています。

地域に開かれた日本語教室は、参加者全員がコミュニケーション能力を高め社会参加する場であり、仲間づくり・まちづくりを始める場だと考えて運営してきました。これからも「この町に住んでよかった！私の人生は楽しくて素敵！」と思えるような活動を、みんなで一緒に進めていきたいです。



完成したステンドグラスの前で



にぎやかな教室の様子



日本語ご紹介

海外編

アメリカ合衆国



授業時間外の日本語の授業の様子



## 未来の米国のリーダーに 「日本」と接する機会を

米国陸軍士官学校教官  
陸上自衛隊 2等陸佐

兵庫 剛

### 米国のリーダーの卵たちは 「日本」を知らない？

米国陸軍士官学校(通称:ウェストポイント)は、全米屈指の高等教育機関として知られています。200年以上の伝統を有し、アイゼンハワー元大統領をはじめ多くの米国のリーダーを輩出してきました。そこで私は、陸上自衛隊から初めて派遣された教官として勤務しています。ですが私、本職は日本語教師ではありません。軍事訓練教官として、意思決定や問題解決法について教育するのが私の職務です。まさか自分が米国で日本語教育に携わるとは思ってもみませんでした。

きっかけは、赴任して間もなく「学生たちが日本について知らない。」あるいは、「興味はあっても接する機会が無い。」と気づいたことでした。ウェストポイントは、陸・海・空軍の士官学校の中で唯一日本語講座がありません。また、日系人の比率は1%に満たないほどで、東アジア系で最少です。しかし、日本に感心を持ち、学びたいという意欲を持っている学生は、私を見ると声をかけてくれます。関心とニーズは確実にあります。一方で、日本に関心のない学生は、本当に日本のことを知らないということも事あるごとに感じます。日本と言えば「Sushi」というのが、少々乱暴ですが一般的な学生の日本に関する知識という現状です。

### いかに「日本」を発信するか？

そこから試行錯誤が始まりました。「新規の日本語講座を開講」、「他の教官の授業にゲストスピーカーとして参加」、「日本クラブの立ち上げ」いろいろとアイデアは考えま



日本人教官として初めて担任した学生たち

したが、一人で全てできる訳でもありません。しかも赴任当初、私には何の権限も与えられていませんでした。途方にくれつつも、上司や知り合いの教官にアイデアを話しながら方向性を探りました。すると、少しずつですが突破口が開けてきました。いろいろ挑戦してみるものですね。米国人は関心を持って面白かったことは積極的に支持してくれます。「おもしろいね! やってみよう。」となると、頼んでもないことまで実現してくれます。

そのおかげか、当初は設立困難といわれた日本クラブも今年から徐々に活動を始めるようになりました。日本語教育は、春学期に週1回の初級講座を開くとともに、通年で上級者に対する個別指導を行っています。教材は、大学院時代の同級生や在ニューヨーク日本国総領事館にお世話になりながら、少しずつ充実させてきています。教育技法も自己流からの出発でしたが、正規の語学教育を研修し、少しずつ改善してきています。ウェストポイントの語学教育は非常に印象的です。必修の語学は2学年時に履修するのですが、なんと毎日55分の授業が通年で実施され、計160回の授業を通じて実戦的な語学力を修得しています。さらに授業の多い語学専攻の学生は、わずか2年ほどで外国語でのプレゼンや討議が実施できるまでになっています。日本語教師の

皆さんにはお馴染みのアーミー・メソッドのまさに実践の場ですね。

### 成熟したパートナーだからこそ、 互いを知る努力を

人間関係の維持にコミュニケーションが重要なように、国家間の良好な関係の維持にも、知ろうとする、また知らせる努力が不可欠なのだろうと感じます。そういった意味では、成熟した二国間関係であるからこそ、それを維持するための努力は意識して続ける必要があるのではないのでしょうか。

我々は、ともしれば「米国人は日本のことを分かってくれる」という錯覚に陥りがちなのではないかと感じることがあります。コミュニケーションとそれを支える知識無しに自然と相互理解が深まることはありません。しかし、米国では80年代の日本ブームを受けて開講された中学～大学の日本語講座が閉鎖される傾向にあり、次々中国語講座に置き換えられています。それは、実利に目ざとい米国人の関心が移り変わっていることの証でしょう。一方で、日米の関係の重要性や意義も変わってはいませんし、その基盤を支えるのは教育です。日本人が米国を知るだけでなく、米国人が日本を学ぶことも同じように必要であり、その基礎となる米国における日本語教育は、今の時代だからこそ意義を増しているのではないのでしょうか。

# 教材紹介

## アカデミック・ライティングのための パラフレーズ演習

鎌田美千子・仁科浩美 著  
本文 74 頁 別冊 15 頁 1,400 円



### 言い換えのスキルを身につける

宇都宮大学  
鎌田美千子

大学・大学院でアカデミック・ライティングに日本語で取り組む留学生を対象に作られたテキストです。自分の考えを日本語で伝えることができるようになって、以下のような問題を抱える留学生が少なくありません。

- ・レポートや論文を書く際に、日常的な表現を使ってしまう。
- ・ゼミで用いる発表スライドや発表レジュメで箇条書きや短い文でのまとめができず、内容を簡潔に示すことができない。

「レポートや論文では書き言葉を用いる」「発表スライドや発表レジュメでは簡潔に示す」と理解していても実際に生かせない。これらの問題には共通して、目的や伝達手段に応じて適切に言い換えることができない、つまりパラフレーズができないといったことが見られます。

レポートや論文、発表スライド、発表レジュメなどは、たとえ同じ内容であっても、それぞれに適した表現を用いて述べなければなりません。そこで本書では、さまざまなパラフレーズを取り上げ、段階的な問題演習を行います。

第Ⅰ部 単語を言い換える：

書き言葉、和語と漢語、名詞化、ジャンルによる使い分けに関するパラフレーズを学びます。

第Ⅱ部 意味を読み取って言い換える：

長い文・複数の文、上位概念、簡潔な表現、含意・解釈に関するパラフレーズを学びます。

第Ⅲ部 目的に応じた形式で書く：

第Ⅰ部と第Ⅱ部で学習したパラフレーズを用いて、大学・大学院でのアカデミック・ライティングに近い問題演習を行います。具体的には、文献を引用する、発表スライドを作成する、インタビューの内容をレポートに書くといった問題演習を行います。

こうした一連の学習を通して、アカデミック・ライティングに必要な言語表現が使えるようになることを目指します。

留学生を対象にした日本語のテキストが数多く出版されている中で、パラフレーズに焦点を当てた、おそらく初めての一冊になると思われます。アカデミック・ライティングの学習に役立つ一冊として広く活用していただけることを願っています。

## 「みんなの日本語 中級」シリーズ

株式会社スリーエーネットワーク 編著



### 初級から中級まで一直線に

『みんなの日本語初級』に続く『みんなの日本語中級』は中級として必要な日本語力を総合的に養います。『みんなの日本語中級Ⅰ』は初級の学習しやすさはそのままに、初級から中級をつなぐ中級前期として「話す・聞く」の養成を中心に、『みんなの日本語中級Ⅱ』は上級を目指して、基礎的な日本語力をもとにさらに積み上げ、「読む・書く」に軸を移して学習します。

#### みんなの日本語中級Ⅰ

本冊	2,800 円
翻訳・文法解説 英語版	1,600 円
翻訳・文法解説 中国語版	1,600 円
翻訳・文法解説 韓国語版	1,600 円
翻訳・文法解説 ドイツ語版	1,600 円
翻訳・文法解説 スペイン語版	1,600 円
翻訳・文法解説 ポルトガル語版	1,600 円
翻訳・文法解説 フランス語版	1,600 円
標準問題集	900 円
教え方の手引き	2,500 円

#### みんなの日本語中級Ⅱ

本冊	2,800 円
翻訳・文法解説 英語版	1,800 円
翻訳・文法解説 中国語版	1,800 円
翻訳・文法解説 スペイン語版	1,800 円
翻訳・文法解説 ポルトガル語版	1,800 円

## 電子書籍・アプリ

### スリーエーネットワークの電子書籍・アプリをご紹介します

#### 電子書籍

わんわん台湾 ぶらぶら♪ラブラブ♥めおと旅〈デジタル版〉	900 円
めきめきメキシコ 情熱と暴走とチューのメキシコ旅行〈デジタル版〉	900 円
ワイワイハワイ フラットとお気楽ひとりオアフ&ハワイ島〈デジタル版〉	900 円
そうそうソウル 奔走迷走韓国旅行〈デジタル版〉	900 円
ババババンコク ハマッてカマッてタイ旅行〈デジタル版〉	900 円

#### 改訂版 毎日使えてしっかり身につく はじめよう日本語 初級

はじめよう日本語初級1 授業の進め方〈デジタル版〉	1,800 円
はじめよう日本語初級2 授業の進め方〈デジタル版〉	1,800 円
はじめよう日本語初級 語彙リスト 英語訳〈デジタル版〉	1,200 円
はじめよう日本語初級 語彙リスト 中国語訳〈デジタル版〉	1,200 円
はじめよう日本語初級 語彙リスト 韓国語訳〈デジタル版〉	1,200 円
はじめよう日本語初級 語彙リスト ベトナム語訳〈デジタル版〉	1,200 円
わかって使える日本語 指導のポイント〈デジタル版〉	700 円
はじめて日本語を教える人のためのなっとく知っとく初級文型 50 〈デジタル版〉	1,300 円
中間言語語用論概論〈デジタル版〉	1,600 円
文章を理解するとは 認知の仕組みから読解教育への応用まで〈デジタル版〉	1,600 円
初級日本語学習者のための待遇コミュニケーション教育〈デジタル版〉	2,400 円
<b>成り立ちで知る漢字のおもしろ世界</b> 動物・植物編〈デジタル版〉	900 円
自然物編〈デジタル版〉	900 円
手と足編〈デジタル版〉	900 円
人体編〈デジタル版〉	900 円
道具・家・まち編〈デジタル版〉	900 円
人(ひと) 編〈デジタル版〉	900 円
武器・ことば・祭祀編〈デジタル版〉	900 円
にほんご Café 韓国語から見えてくる日本語～韓流日本語鍛錬法〈デジタル版〉	700 円
漢字で意味が変わるビミョ～な日本語〈デジタル版〉	600 円
もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら〈デジタル版〉	800 円
続・もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら〈デジタル版〉	800 円
もしも…あなたが外国人と「日本語で話す」としたら とりあえず日本語で〈デジタル版〉	800 円
狙え! 150 点アップ TOEIC® テスト 14 日間の直前プロジェクト〈デジタル版〉	700 円
English 脳で覚える英単語ハンドブック〈デジタル版〉	1,600 円

#### アプリ

##### 新完全マスター

JLPT N1 級 语法 新完全掌握必背句型 123
JLPT N1 文法 新完全マスター 필수문법형식 123
JLPT N2 級 语法 新完全掌握必背句型 198
JLPT N2 文法 新完全マスター 필수문법형식 198

『新完全マスター文法日本語能力試験 N1』『新完全マスター文法日本語能力試験 N2』に準拠した翻訳付の独習用教材です。iPhone、Android 端末でお使いいただけるアプリで、APP STORE もしくは Google Play でご購入、ダウンロードいただけます。まずは LITE 版でお試ください。



現在、当社の電子書籍は以下の電子書店をはじめ、主な電子書店でご購入いただけます。

(2014年1月25日現在)

紀伊國屋書店 Book Web  
Book Live!  
セブンネットショッピング  
honto  
GALAPAGOS STORE

以下の書店は一部取り扱いのない商品もあります。

Yahoo ブックストア  
楽天 kobo

# なんでも情報 BOX

## Books ほん

すべて本体価格です

アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習	3月発行予定	1,400円
日本語初級2 大地 漢字学習帳〈英語版〉	3月発行予定	1,400円
みんなの日本語 中級II 翻訳・文法解説 フランス語版	3月発行予定	1,800円
みんなの日本語 中級II 翻訳・文法解説 ドイツ語版	4月発行予定	1,800円
みんなの日本語 初級I 第2版 漢字英語版	4月発行予定	1,800円

### 『みんなの日本語』を使った教え方—初級から中級までを通して考える in 東京

非漢字圏の日本語学習者の来日の増加に伴い、これまでのコース運営を再検討している教育機関も多いと聞いています。そこで改めて、初級から中級までを通して、教え方について考えてみませんか。非漢字圏で教え方は違うのか？ 初級から中級への指導の移行はどうすればいいのか？

『みんなの日本語』は「みんな」とついているとおり、漢字圏も非漢字圏も関係なく使っていただける教科書です。当日は『初級』と『中級I』の具体的な指導についてご説明いたします。導入、練習それぞれでの押さえるべきポイントなど、日々繰り返している初級指導や中級指導の基本について、教科書を活かす適切な方法をもう一度確認します。

なお、2013年12月21日に実施いたしましたスリーエーネットワーク・凡人社創立40周年記念フェアイベントと一部内容(『みんなの日本語初級』の教え方の部分)が重複いたしますので、ご了承ください。

講師：田中よね(『みんなの日本語』執筆協力者)

日時：3月1日(土) 13:30～16:30

(受付13:00)

会場：TKP 麹町駅前会議室(東京都千代田区麹町3-2 麹町共同ビル8階)

定員：80名(先着順。定員になり次第、締切りします。)

参加費：無料

問合せ/申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-Mail: kouza@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp

102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラステイ 麹町ビル2F

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。

主催：スリーエーネットワーク

### 『みんなの日本語 初級 第2版』改訂のポイント in 仙台・名古屋

発行以来、みなさまにご愛用いただいている『みんなの日本語 初級』シリーズが改訂されました。『み

んなの日本語 初級 第2版』として、2012年8月以降、改訂版の発行を行っています。『みんなの日本語 初級II 第2版 本冊』発行でシリーズの柱となる主教材がそろいましたので、第2版の改訂のポイントについてご紹介をする研修会を仙台と名古屋で開催いたします。仙台会場は丸善仙台アエル店・スリーエーネットワーク共催イベントとして実施します。

#### ① 仙台会場

講師：澤田幸子

(『みんなの日本語初級 第2版』執筆協力者)

日時：3月29日(土) 14:00～16:30

(受付13:30)

会場：TKP 仙台カンファレンスセンター ホール3A

定員：100名

(先着順。定員になり次第、締切りします。)

参加費：無料

共催：丸善仙台アエル店、スリーエーネットワーク

\* 参加者には丸善仙台アエル店の割引チケットを当日お渡しする予定です。

\* なお、会場での展示販売は現在調整中です。ご注意くださいませ。

#### ② 名古屋会場

講師：澤田幸子

(『みんなの日本語初級 第2版』執筆協力者)

日時：3月15日(土) 14:00～16:30

(受付13:30)

会場：TKP 名古屋栄カンファレンスセンター ホール7B

定員：100名

(先着順。定員になり次第、締切りします。)

参加費：無料

主催：スリーエーネットワーク

#### ①② 講座共通

問合せ/申込み先：

スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-Mail: kouza@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp

102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラステイ 麹町ビル2F

お名前・ご所属・ご住所・お電話番号を明記してください。

### ご応募ありがとうございました!

Ja-Net67号で募集いたしました『FUJITSU's Guide to Japanese いろはに富士通』プレゼントにご応募いただき、ありがとうございました。たくさんの方に興味を持っていただき、心より感謝いたします。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

ぜひご活用いただき、ご感想をお寄せください。



## Ja-Net No. 68 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2014年1月25日発行

● 発行人 小林卓爾

● 発行所 (株)スリーエーネットワーク

営業広報部 Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラステイ麹町ビル2F

TEL: 03-5275-2722 FAX: 03-5275-2729

E-mail: sales@3anet.co.jp

http://www.3anet.co.jp/

● 印刷 日本印刷(株)

© 2014 by 3A Corporation Printed in Japan

(禁無断転載)

● 『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第69号は2014年4月25日発行です。